

News Release

HITACHI
Inspire the Next

2017年3月15日

株式会社日立情報通信エンジニアリング

「動線計測ソリューション」を世界最大級のIT関連見本市「CeBIT 2017」に出展



「CeBIT 2017」の日立グループブース外観イメージ

株式会社日立情報通信エンジニアリング(代表取締役社長:小菅 稔、本社:神奈川県横浜市)は、3月20から24日までの5日間、ドイツ・ハノーバーで開催される、IT関連としては世界最大級の国際情報通信技術見本市「CeBIT(セビット) 2017」の「ジャパン・パビリオン」に、人やモノの動線を計測し可視化する「動線計測ソリューション(Flow-based Object Tracking Solution)」を出展します。

「CeBIT」は、近年、ビジネス向けの展示に特化し、IoT^{*1}、ビッグデータ、AI^{*2}、ロボットなどの先端技術を活用したB2B^{*3}ソリューションの国際見本市として毎年開催されています。今回、初めて日本がパートナーカントリーとして参加することになり、「Create a New World Japan – Society5.0, Another Perspective –」というコンセプトのもと、政府、経済界が協力して、「ジャパン・パビリオン」を大規模に出展します。日本企業にとって、IoT関連のビジネスモデル構築や海外展開など、今後のビジネスの促進が大変期待されています。

当社は、「ジャパン・パビリオン」の日立グループブースに「動線計測ソリューション」を出展します。「動線計測ソリューション」は、レーザー・センサーを利用した人・モノの流れ・滞留をリアルタイムかつ正確に可視化、データ化して位置情報としての分析・利活用が可能な計測・解析ソリューションです。オフィス・商業施設におけるレイアウト検証や、工場・倉庫における作業員の動線把握、作業効率の可視化、進入禁止エリアのセキュリティ強化など、多様な用途・目的で利用することができます。

本展示では、センサー市場のリーディングカンパニーの一つであるドイツSICK AG社と連携し、SICK社製2Dレーザー・センサーを使用して、個人情報特定せずにブース内の人の移動・滞留をリアルタイム表示、来場者のブース内行動計測をデモンストレーションで紹介します。また、マルチレ

イヤーの3Dレーザー・センサーにより混雑部位を計測し、2Dレーザー・センサーの計測情報とシームレスに連携することで、より正確な計測を実現します。

当社は、今回の出展を通じて、海外市場におけるプレゼンス向上やビジネスモデルの確立をめざします。また、日立グループの一員として、今後もIoTやビッグデータなどを活用したデジタルソリューションを中心にお客さまの課題を発見・解決するとともに、新たな価値の創出を支援していきます。

*1 IoT : Internet of Things

*2 AI : Artificial Intelligence

*3 B2B : Business to Business

■「CeBIT2017」に関するホームページ

<http://www.cebit.de/en/>

■「SICK AG」社に関するホームページ

<https://www.sick.com/jp/ja/>

■「動線計測ソリューション」に関するホームページ

<http://www.hitachi-ite.co.jp/products/o-tracking/index.html>

■報道機関お問い合わせ先

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 経営・事業企画本部 企画部 [担当:中村]

〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号 クイーンズタワーB 22階

電話:050-3163-5726 (直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
